

# 災害に備えて



富士川町議会

検索

山梨県富士川町議会



今号よりQRコード付き

- 地区懇談会開催 2
- どう生かされた私たちのお金 4
- 7人が町の課題を問う 9
- 追跡その後どうなった? 16
- 夢に向かって 20

# 地区懇談会開催

全12地区で233人が参加！



## 鯉沢北区

日時：7月28日 場所：鯉沢北区地区公民館 参加者：17人

**要望** 町営住宅は収入による家賃が法律で定められ通知されるが、一方的で住民側に立っていない。もう少し丁寧な説明をしてほしい。

**要望** 鯉沢中学校を統合しないでほしい。

**質問** ディリーの交差点へ信号機設置を。

**答え** いつ設置とはいえないが、関係機関にお願いした。



## 平林区

日時：7月30日 場所：平林地区公民館 参加者：15人



**要望** 県道青柳平林線脇の草木の伐採を、計画的に年2~3回お願いしたい。

**要望** みさき耕舎の運営が厳しく来年度以降問題がある。改善策を検討しているが良い策がない。町も一緒になって検討してほしい。

**要望** 耕作放棄地を地元住民で耕作している。支援策を検討してほしい。

## 鯉沢中区

日時：7月31日 場所：鯉沢中区地区公民館 参加者：13人

**要望** シビックコアの図書館合築は、造るだけではただの箱モノになってしまう。物販や喫茶店・飲食店など、民間活力を活用できるような工夫をしてほしい。

**要望** 人口減少が問題になっている。企業などにも働きかけ、婚活などのアイデアを考えてほしい。



## 天神中條区

日時：8月17日 場所：天神中條地区公民館 参加者：10人



**要望** リニア建設で騒音や磁界の問題について不安の声が多い。はっきりとした回答をいただけるように要望してほしい。

**質問** 介護保険料が、一番安い北杜市に比べて、ずいぶん高いのはなぜか。

**答え** 北杜市は介護予防をしっかりとっている。健康増進に力を入れるよう、対策を議会でも考えていく。

# 開かれた議会を目指して

6月18日から8月17日の間、12地区で地区懇談会を開催しました。前号に引き続きの掲載です。区民の皆さんから貴重なご意見をいただき、今後議会活動に生かしていきます。

## 中部区

日時：7月14日 場所：鬼島高齢者ふれあいセンター 参加者：26人



**要望** 町営中部住宅の現状を議会に見てもらいたい。空き家になっている所の草刈りがされていない。管理をしっかりしてほしい。

**要望** 鰍沢小の1年生は17人で、6年後の鰍沢中の存続について心配である。子どもを増やす努力をして、鰍沢中が存続できるように移住・定住を推進してほしい。

## 長澤区

日時：7月21日 場所：長澤地区公民館 参加者：12人

**質問** 個人の土地の雑草管理について、条例で規制を厳しくしてほしい。

**答え** 雑草除去の条例はある。空き家対策も含め議会でも検討する。

**要望** はみ出た木で標識が見えなかったりするので、町で調査して指導してほしい。



## 小室・高下区

日時：7月22日 場所：ゆずの里ふれあいセンター 参加者：19人



**質問** リニア工事車両が通行する県道、町道の道幅の狭いところの拡幅を先行実施してほしい

**答え** JR東海へ要望していく。

**質問** リニアについて議員として何が問題かを把握してほしい。

**答え** 意見を聞きながら問題点をJR東海へ要請していく。

## 菴米区

日時：7月24日 場所：菴米地区公民館 参加者：24人

**要望** 自治会加入について、役場でもしっかり説明し加入を促進してほしい。

**要望** 空き家バンクは良い施策。今後、移住者に農地を貸すこともできるようにしてほしい。

**要望** 消防団員の確保は難しい。今後は分団の統合や女性消防団員を考えてほしい。



# 77億9141万円



## 私たちのお金

まで18日間の会期で開催された

前年度より

総額約1億3000万円減



### 土木費

7万3265円

(11億7291万円)

建物の建設や維持管理、  
道水路整備、大型設備の  
購入など

### 民生費

12万3489円

(22億73万円)

社会福祉、高齢者、障が  
い者、児童福祉費、保育  
所運営費など



### 教育費

4万3475円

(6億9600万円)

学校教育費、生涯学習費、  
社会教育費など

### 消防費

2万7670円

(4億4297万円)

防災費、消防団費など

町民1人あたり  
約49万円負担

人口減少により  
負担は  
前年度同額



### 衛生費

3万7762円

(6億454万円)

保健衛生費、国保・介護  
保険などへの繰出



### 公債費

5万7440円

(9億1955万円)

借金の返済(元金、利子)

### 総務費

6万1027円

(9億7698万円)

職員の給与、町長、議員お  
よび各種委員などの報酬、  
文化ホール運営費など

### 農林水産業費

2万1186円

(3億3916万円)

農業費、林業費、国土調  
査費など

### その他

2万7395円

(4億3857万円)

議会費、商工費など

基金(貯金) 町民1人当たり 21万円(町全体33億6000万円)

地方債(借金) 町民1人当たり 49万円(町全体78億9827万円)

翌年度繰越金 3億6642万円

( )内は平成26年度決算額  
一人あたりの額はH27.4.1現在  
人口16,009人で割った額

# 26年度一般会計

## 有効に使われたか

町道大柵大久保線



戸別受信機送信局



利根川プール



9月定例議会が9月11日から28日

### 平成26年度に実施した主な事業

- ・ 防災行政無線戸別受信機送信局設置工事
- ・ 鯉沢福祉センター改修工事
- ・ 町道青柳1号線道路改良・舗装工事
- ・ 町道青柳11号線道路改良・舗装工事
- ・ 東川拡幅工事
- ・ 町道大柵大久保線不動産鑑定業務委託
- ・ 利根川プール改修工事
- ・ 町制5周年記念「町の鳥」「町の歌」選定
- ・ 文化ホール自主公演町制5周年記念事業28本実施
- ・ 十谷ヘリポート整備事業
- ・ 保育所窓ガラス飛散防止フィルム設置工事

#### 財政健全化判断比率の状況は

**問** 将来負担比率が39.7%から53.1%と13.4%増えた原因は、峡南医療センターの負担増か。

**答** 町が加入する一部事務組合等の地方債残高が増えたことが原因であるが、峡南医療センター分は今回から算定に加わった。



町制5周年記念  
「町の歌」発表

#### 平成26年度特別会計・事業会計

・ 国民健康保険	17億5880万円	・ 箱原農業集落排水事業	1254万円
・ 後期高齢者医療	3億5133万円	・ 鹿島財産区	1,000円
・ 介護保険	17億3962万円	・ カラマツオ外三十山恩賜林保護財産区	42万円
・ 介護サービス	9349万円	・ 峡南地区ことばの教室共同設置	168万円
・ 奨学金	200万円	・ 峡南地区充指導主事共同設置	85万円
・ 簡易水道事業	1億7726万円		
・ 下水道事業	7億5992万円		
・ 営農飲雑用水事業	342万円		

#### 水道事業会計

収益的支出	1億9865万円
資本的支出	1億7509万円

# 決算特別委員会レポート

## 一分科会報告

### 全体会

今定例議会で特別委員会を設置し去る9月11日の本会議で当委員会に付託された議案を、9月16日、17日に分科会、24日に全体会を開き、慎重な審査を行った。



完成道路の視察

### 町への意見

一、浄水設備などの保守点検の委託業務が随意契約で行われているが、見直す必要はないか。基本は、最少の経費で最大の効果を得ることである。あらゆる視点に立ち入札できないか検討することや、他社から見積もりを取るなど経費節減に努めることを望む。

一、税および使用料等徴収事務全般について、徴収未済額が現年分・過年分について発生している。住民に対する公平性の観点からも、徴収の強化に努めてもらいたい。

一、保険給付費（医療費）は、関係課と協力しながら、さまざまな方途を講じて抑制に努めてほしい。

### 総務分科会

てを支給した。

#### 【財務課】

問 卒園すれば保育料の滞納額徴収はできないのか。

答 徴収の効果が成立しないかぎり、徴収できる。卒園後も督促している。

問 財政課として今後各担当が行う事業実施にあたり、改善点はどんなことが考えられるか。

答 地方交付税の合併算定替えによる減収が見込まれる。歳出の削減と、事業執行の際は財源の確保に努める。

#### 【総務課】

問 男性職員の育児休業取得者は。

答 0件。

問 不動産差押物件の換金があったのか。

答 山梨県と合同による土地の公売を実施し320万円の換金を行った。

#### 【企画課】

問 事務事業住民評価委員会の評価結果はどう生かされたか。

答 廃止1件、改善5件、継続10件の評価結果を27年度の事業実施に反映した。

#### 【防災課】

問 機能別消防団員の出勤状況は。

答 火災発生時の出勤が2回あり、消防団員出動手当

### 平成26年度事業仕分け評価結果

補助金・事務事業	結果
富士川町まちの駅実施事業補助金	廃止
母親学級	改善
スクールガードリーダー	改善
コミュニティバス運行事業	改善
訪問リハビリ事業	改善
ふるさと小包発送事業	改善

他、継続10件

【生涯学習課】

問 中部体育館にフットサル用備品が整備されたが、利用状況は

答 26年9月から27年3月は11件、27年4月～8月は16件。

【教育総務課】

問 給食費の滞納状況は

答 本年度から始まった給食費補助金制度を実施するにあたり確認したところ、納付されている。

【町民生活課】

問 国民健康保険料の滞納額約9100万円の内訳は

答 26年度は223件、過年度分は728件。

問 保険給付費（医療費）の抑制状況は

答 ジェネリック薬品の切り替え者が増加している。



中部体育館フットサル設備

【福祉保健課】

問 民生委員の活動状況は

答 グループ討議を行い、委員同士の情報交換や活動内容を共有している。

【子育て支援課】

問 保育所の窓ガラス飛散防止フィルム工事の進捗は

答 全ての保育所で終了した。

【上下水道課】

簡易水道事業特別会計

問 一般管理費修繕料の漏水工事の件数と25年度分の比較と、漏水の原因は

答 26年度は44件で、前年度より28件増加。水道管が全体的に古く劣化が考えられる。修繕すると、新たに弱い部分に圧力がかかり漏水が起ることもある。

下水道事業特別会計

問 一般管理費の需用費は、支出額より不用額が多い。公共下水道事業費の工事請負費なども不用額が多い。理由は

答 需用費は主に緊急に備えた修繕費である。他の費目には減額補正できるものもあり、対応していきたい。

【農林振興課】

問 年間の農地転用処理件数と、25年度と比較した状況は

答 26年度の処理件数は、58件であり、25年度との比較は、ほぼ横ばい。

問 青柳排水機場の耐震診断した結果は

答 機能については問題ないが一部補修が必要である。詳細な耐震診断を行い、構造的にどのような補強が必要かを調査する。



青柳排水機場

【商工観光課】

問 まほらの湯、かじかの湯の回数券（11枚つづり）の販売状況は

答 かじかの湯の回数券を25年度から489セット繰り越し、26年度は、まほらの湯700セット、かじかの湯1300セットを購入した。

まほらの湯は完売した。かじかの湯は1128セットを27年度に繰り越した。

【建設課】

問 町営および町有住宅の入居率は

答 町営住宅は募集停止を除外と100%に近い入居率。町有住宅は52%で、そのうち鯉沢団地の改修した2室は入居中。青柳町団地の改修した2室のうち、1室は予約、もう1室は空いている。

# 病後児保育事業を開始

増穂小プール改修へ 2681万円

## おもな補正予算

ふるさと納税報償費	327万円
ホリデーバス運行負担金	575万円
増穂小学校プール改修等工事費	2681万円
ICT教育機器購入費	500万円
PCB産業廃棄物処理費	2671万円
コンビニ交付システム負担金(個人番号)	467万円
病後児保育事業	53万円
有害鳥獣防除対策費	150万円



老朽化した増小プール



ホリデーバス

## 補正質疑

**問** 増穂小プール改修工事費の内容は。

**答** プールサイドのシート張り、日除けの設置、プール本体・壁の塗装。

**問** ICT教育機器整備費500万円の内容は。

**答** 小学校に電子黒板と実物投影機、中学校にタブレット端末と校内無線LANを設置する。

**問** ホリデーバス運行にあたり、施行期間をおかず、いきなり本格運行としたのはなぜか。

**答** 以前から土・日のバスについて地域の要望・ニーズがあり、地域公共交通会議の中で検討し決めた。

**問** PCB廃棄処理の量は、高濃度984・3kl、低濃度1700・4kl。



保管されている有害物質

したかの管理体制も十分とつてある。

**病後児保育の実施に関する条例制定**

子ども子育て支援事業の一環として、病後児を短期間預かる体制を整える。

**問** 病後児となっているが、病児も含むべきではないか。  
**答** 病児も検討したが、施設・人的体制の関係で病後児のみとした。

**景観条例の制定**

本町の景観を守るため国の法律施行に合わせ制定。

**問** 景観審議会はいつ作るのか、構成メンバーは。

**答** 条例制定後つくる。審議会は学識経験者で構成。

**公民館条例の改正**

新町民会館(鯉沢福祉センター)への移行に伴い、現町民会館を廃止する。

**問** 廃止となれば、現町民会館の使用料規定がなくなる。町民は来年4月以降、使用できなくなるのでは。

**答** 役場の一部として建物は残るので利用できる。制限はあるが利用法を考える。

## 条例制定

**特定個人情報保護条例の制定**

マイナンバー制度導入にともなう条例制定である。

**問** 情報管理、セキュリティ対策は大丈夫か。

**答** 情報管理は、基幹系とネットなどの情報系で分かれているので大丈夫。また、誰がいつ特定個人情報を利用

# まちの課題を問う

**問** 町の  
フェイスブック活用は

**答** 準備が整い次第導入



長沢けん 議員



フェイスブックを活用した取り組みを

**問** フェイスブックを活用し、情報発信をすべきと思うが考えは。  
**企画課長** ホームページにリンクさせるので作成業者システム保守者と協議をしている。準備が整い次第導入する。  
**問** フェイスブックに役場職員がアカウント登録し、

町の投稿をシェアすれば多くの情報発信になる。職員を活用する考えは。

**企画課長** 登録を義務付けることは難しいが、ホームページとの連動後は運用マニュアルを作成し、職員に協力を求めていく。

## リニア中央新幹線 対策は

**問** 町は緩衝帯の両側を追加買収し、側道を設置する考えを示した。用地交渉はJR東海と同時進行すべきだが、今後の工程は。

**企画課長** 防音フードか防音壁かで、用地取得幅が違う。確定後、山梨県リニア用地事務所と連携を図り進める。

**問** まずほ児童センター、利根川公園町民体育館の代替地について、現在の状況は。

**総務課長** まずほ児童センターの移設先は、現在地周辺で検討している。町民体育館は大きな面積を確保できる条件で進めている。両施設とも、まだ移転先は確定していない。

## 健康推進活動は

**問** 行政アプリを立ち上げ、健康管理をする取り組みについて考えは。

**福祉保健課長** コストがかかることが予想され、実施は考えていない。ノーコストだとしても調査研究が必要であるため、今後検討する。

**問** ヘルスケアポイントを、町内の利用券などに充てる取り組みは。

**福祉保健課長** 現在のところ考えていない。

**問** 歩道に距離がわかる目印をペイントするなど、ウォーキングコースを設定する考えは。

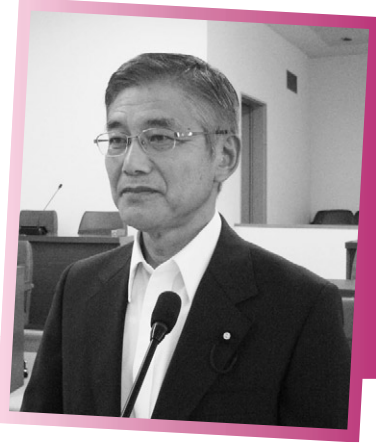
**福祉保健課長** 歩道に目印をペイントすることは困難。1年間、保険診療を受けなかった世帯に奨励金を出す考えは。

**町民生活課長** 現時点では考えはないが、奨励金を出している自治体の効果について検証する。

## 問 文化ホール敷地内に図書館を

## 答 単独の建設は考えていない

川口正満 議員



**問** 建設費を減らすためのシビックコア合築案に町民は「どこを向いた案か」と驚いた。国道沿いにあり、往復の安全安心面で適さない。幼児から高齢者まで町民が便利に利用できる立地と公益性が必要十分条件である。文化ホール敷地は、保育所・小中学校に近く、勤め人や高校生も夜に利用できる、北西部地区は人口も増え将来的な利用価値も高まる、文化ホール利用との相乗効果もある。町の全体最適と「利用者数と利用率」を考慮した見解は。

**町長** 予算がなくては難しい。

町有地を有効活用できるが、多機能・複合化の建設を考えている。単独での建設は考えていない。

**問** 図書館は、地域、産業学校の支援となり地域力を高める。町民は図書館を通じて町づくりに関与したいという動きもある。

合築案と文化ゾーン案について、長所短所を比較し、町民に公表して判断を仰ぐような進め方を期待するが、**町長** 合築案は地域バランスを考え、会議室や駐車場が共同で使える。文化ホールの駐車場はイベント時には足りない。緑地は無駄といえはムダだが、文化施設として必要。

### 地方版総合戦略の策定は

**問** 「安定した雇用を創出する」の策定内容は

**企画課長** 地域活性化、起業支援、企業誘致やサテライトオフィスを推進する。

**問** 「人の流れをつくる」、「地域づくり、地域が連携する」な

どの検討は。

**企画課長** 移住支援のための土地や住宅取得の支援、ホリデーバスの運行開始、また櫛形山の資源活用を近隣市町と連携することで新たな人の流れをつくっていく。

**問** 姉妹都市交流は社会教育や地域活性化にも効果があり、具体化するべきでは。  
**企画課長** 自然、歴史、産業の共通点と海に面した都



広い緑地を利用して図書館建設を

市との交流を、検討していきたい。

**問** 中学や増商も交流がありきっかけにできないか。  
**企画課長** 今後可能性を模索していきたい。

(他の質問事項)  
・雑草除去について  
・リニアの国家的なリスク

## 問 多額の赤字経営に口を出すべき

## 答 町長が介入できない組織

堀内 春美 議員



**問** 峡南医療センターは多額の赤字が見込まれているとのこと聞く。町長は常々金は出すが口を出さないと云っているが、経営が順調に進んでいる時はよいが、多額の赤字を抱えて口を出さないというのはいかがなものか。

**町長** 病院経営は専門的な知識や経験が必要で、経験のないものが口をはさむべきでないというのは、私の意見ではなく、二病院統合の検討委員会の中の委員の意見を代弁した。また、多額の赤字が見込まれているとのことで大変遺憾と考える。

ている。医療センターの組織図には市川三郷町の久保町長も私も入っていないが開設者会議をつくり、病院の将来計画などについて関与している。

**問** 赤字の解消はどのようなしていくのか。

**町長** 市川三郷町と協議を進め、良い方向を模索したい。

**問** 富士川病院は開業以来多くの町民から救急患者を受け入れてくれないとの苦

情が多い。地域病院として町民の安心を守るべきだと思いが、今年の5月に富士川病院にかかりつけだった町民の方が倒れ、救急車から富士川病院に問い合わせたが拒否された。他の病院もカルテがないと受け入れられず、再度峡南病院にお願いして患者を運んだが駄目だった。倒れて救急車を呼んでから45分経過していたが、最初にかかりつけの富士川



経営改善を迫られる峡南医療センター

病院で受け入れて応急処置をしていけば助かった命かも知れない。家族は切なくやりきれない思い。町民の税金で経営している病院が町民を拒否することがあってはならない。結果として助けられなかったとしても、いったんは受け入れして症状を診て他の病院へ搬送する、こういうシステムが必要だと思いが。

**町長** できる限り救急を受け入れてくれるよう病院側に申し入れを行った。

**問** 地域の安心の源であるこの病院を地域住民が、自分たちの病院であるという意識を持ち富士川病院を利用してもらい同時に富士川病院を育てるという意味でいろんな年代、職種の人と病院とで委員会を構成したらどうか。

**町長** 町で言えば町長に匹敵する企業長がいるので、今後も企業長と連携をしてやっていく。

(他の質問事項)  
・町民会館の存続について

## 問 防災ラジオの周知を

## 答 今後も普及に努める

青柳光仁 議員



**問** 防災戸別受信機の販売が始まったが購入者の通信確認や取扱いの周知方法は、**防災課長** 通信確認は、9月末まで毎日2回試験放送を行う。取扱い方法周知は窓口での説明書配布と、ホームページでの周知を図る。

**問** 多額の設備投資をしたが、利用者が少ないと思う。今後の普及促進計画は。

**防災課長** 「広報ふじかわ」やホームページを通じて普及に努め、難聴世帯の解消に取り組む。

**問** 6千世帯のうち、購入世帯が420軒では少ないか。2次募集の予定は。

**防災課長** 試験放送の送受信確認をし、年末以降に2次募集を計画している。

### 公共施設再配置は

**問** 教育委員会の移動後の建物の利用計画は検討されているか。

**町長** 教育委員会については、新庁舎ができた段階で一緒に移転する計画である。移転後の利用計画について現時点では検討していない。

**問** 教育文化会館の建物は、望月百合子さんからの多額の寄付に基づいてつくられた経緯もある。教育委員会移転後舟運や歴史人物資料館に利用できないか。

**町長** 移転後は地域住民と協議する中で活用を検討したい。

### 国の合同庁舎に

### 図書館を

**問** 国の合同庁舎へ町立図書館を併設する計画と聞いているが、その進捗よく状況は。

**総務課長** 鯉沢シビックコア地区整備計画では国の合同庁舎と町の図書館を合築整備することで国交省と施設規模について協議を始めた段階である。

**問** 今年1月ころからどんな協議を行ってきたか。

**総務課長** 4月末に関東地方整備局から来町され現地の確認をした。6月には甲府財務事務所管財課と役場で用地の打合せをした。また8月には関東地方整備局を訪問し概算要求についての打合せを行なった。



教育文化会館（望月百合子記念館）

# 問 重度心身障がい児の医療費窓口無料化を

## 答 県の医療制度を維持することが大切だ

齊藤欽也 議員



**問** 健常児の医療費の窓口無料化の年齢拡大が各市町村で進む中、昨年来、障がい児の窓口無料化は廃止されたままとなっている。福祉施策、公平性の観点から問題があると思うが。

**福祉保健課長** 本町では何度が「障害児親の会」と勉強会をし、意見交換をおこなった。「すでに十分恩恵は受けている」「制度なら多少不便でも受け入れる」などの意見が出された。制度間で取り扱いが異なることは、その目的からやむを得ないものであり、公平性に問題はない。

**問** 甲斐市や上野原市は、重度心身障害児の窓口無料化を復活させるが。

**町長** 昨年、窓口無料化を廃止し自動償還払いに移行したが、本県の重度心身障害者医療費助成制度は手厚いものであり、この制度を維持していくためにはやむを得ない移行と考えている。

**問** 児童という枠組みで考えれば不公平感を生む、医療費の一時払いの負担は非常に重い。町独自の助成制度・



窓口無料化に一石

貸付制度を考えては。

**町長** 医療費の貸付制度は現在もあると思うが手続きが煩雑であればニーズを確認し検討する。

**公共施設再配置は**

**問** 今回まとめられた公共施設配置計画は、庁舎の新設が第一であり、町民会館や図書館は脇に置かれている。図書館建設は鯉沢地区に国合同庁舎との合築として

進められているが、平日・夏休みは児童生徒が利用する利用しやすい場所、広さが必要ではないか。

**教育長** 町内に魅力ある図書館が出来れば多くの人が利用するようになる。

**問** 町民会館は鯉沢福祉センターに移転するため現在その整備が行われているが、施設内容、面積面でその機能が十分果たせるのか。

**町長** 会議室は少し小さいがその機能は十分果たせる。庁舎建設の折にはその機能も心がける。

**問** リニアに伴う体育館、児童館の移転補償は。

**町長** 来年、夏から秋口に、億単位の補償金額の提示があると思う。

**問** 施設整備の順序、財源措置は。

**企画課長** 町民交流広場やリニアにとまなう施設移転など大型事業がある。その目途が立った時点で改めて検討する。

**町長** 庁舎建設は合併推進債が使える期間にやりたい。

問 健康づくり事業の考えは

答 健康寿命の延伸に取り組む



小林有紀子 議員

問 日本人の平均寿命は世界一だが、介護支援を受けることなく生活できる期間の健康寿命との差が拡大すれば、社会保障費の負担は深刻である。健康寿命延伸に対する考えは。

福祉保健課長 日常的に運動できる環境整備は重要。国保と協会けんぽのデータを分析し、住民の健康状態を把握する。

問 生涯にわたる健康づくりに取り組むきつかけとして、関節疾患や転倒骨折などによる運動器障害の防止のため、スポーツ大会や講習会、健

診に参加すれば、ポイントが付与、それを地域商品券や特産品と交換できる特典付き「健康ポイント制度」の導入の考えは。

福祉保健課長 今のところ考えていない。

問 リニア建設に伴う、町民体育館の中のトレーニング室の移設について伺う。

教育長 (株)フォレストから「フォレストモール富士川」の敷地内に店舗を増設し、その一部を町に貸与したいとの申し出があり、現在、協議を進めている。

高齢者のタクシー割引サービスは

問 高齢者がタクシーを利用する場合に、その一部を助成する、タクシー高齢者割引サービスの導入の考えは。

福祉保健課長 現在のところ考えていない。

町民生活課長 高齢者が買い物や受診に。観光客が観光施設への移動手段として町の活性化に繋がる。

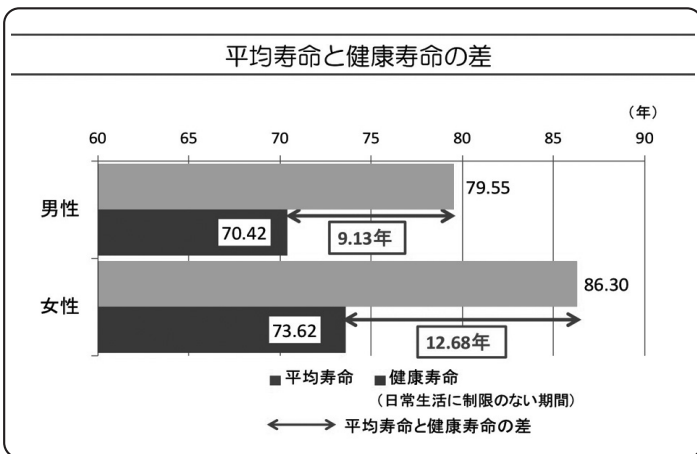
問 観光スポットとして、三筋の可能性を最大限に生かし、定住人口増につながる環境整備が必要。新たなバス運行の利用方法と観光PRをセットにした情報発信は。

商工観光課長 バスは観光面も考えて、ラッピングをし、

多言語化によるガイドマップも配布する。

介護支援 ボランティアは

問 高齢期を健康で過ごすため、介護支援ボランティア活動を行うとポイントが換金できる介護支援ボランティア制度の導入の考えは。



健康寿命を延ばそう (厚生労働省資料より)

## 問 新図書館の建設候補地の議論は

## 答 位置については議論していない

秋山 貢 議員



**問** 図書館基本構想検討委員会では、どのような議論がされているのか。  
**生涯学習課長** 教育関係者図書館利用者など15名を委嘱し、5月からこれまで4回委員会を行った。委員会では、町民が利用しやすい情報拠点としての機能や子育て支援など、時代に合った図書館サービスと地域ゆかりの作家や地域の民話収集などの地域に合った特長ある図書館づくり、充実した図書館サービスが提供できるスペースなどについて、多岐にわたり意見をいただいている。

**問** 世代を超える町民が利用する新図書館の建設候補地について、一切触れられない基本構想はあり得ないと考えます。検討委員会の中で議論して、建設場所もはっきり明示する必要があるのではないかと。  
**生涯学習課長** 図書館については、耐震性のある公共施設、民間施設の活用を検討した。公共施設や民間施設について図書館機能が確保できる施設は見あたら



新図書館との合築が検討されているシビックコア計画地  
 (旧鯉沢病院跡地)

なかつた。  
 シビックコア整備事業の中核である国の合同庁舎と合築を提案したところ、国においても町づくりの観点から提案を受けていただいた。国との協議に必要な図書館の規模などについて、検討委員会を設置し協議している。位置については議論していない。  
**問** 平成26年度の個人の利用登録者は、2729人。現在町の人口は1万

5989人である。登録している方は、町全体の17%。基本構想の中で、利用者の登録数の目標について話し合われているのか。  
**生涯学習課長** 蔵書数、貸出数などの統計は検討委員会へ資料として出している。今後、細かいデータを取り寄せて検討委員会の中でも使っていきたい。

**問** 町では10月上旬に、基本構想の策定を考えているようだが、国との協議で変更になった時には、このまま進める、進めないの判断は誰がするのか。  
**教育長** 基本構想については、

県と国と協議する中で検討している。これまで建築面積は1000㎡から1500㎡で検討してきているが、敷地あるいは場所的な配置があり、今後変更があるということ等を委員には伝えながら、構想を検討している。(他の質問事項)  
 ・ 県立高校再編  
 ・ 平林区の活性化

# 追跡

昨年度の一般質問に対し、町が「検討する・実施したい・取り組む・努力する・必要と考える」などと、前向きな回答があったものの中で1年を経過した質問事項について、進ちょく状況を点検した。



## その後どうなった？

26年6月

**問** 中山間地域の人口減少対策の考えは。

**答** 移住者への助成を検討する。

**現状** 平成26年10月から、中山間地域等における住宅用地取得費補助金支給制度を開始した。

### 住宅用地取得費補助金支給制度

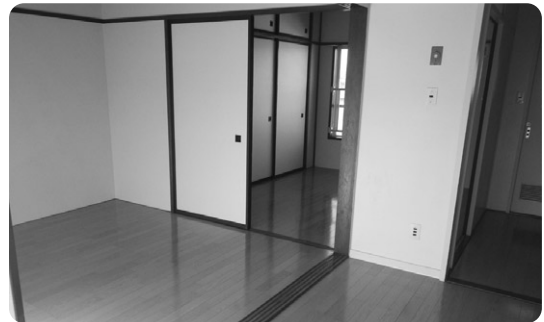
対象者	1、住宅用地を取得し、2年以内に定住を開始した方 2、住宅が建築済みの住宅用地を取得した方は、取得から3月以内に定住を開始した方
指定する地域	平林区、小室区、高下区、鯉沢南区の一部（天戸町、駅前通り）、中部区、五開区
補助内容	用地費の1/3以内で、80万円が上限です。

26年6月

**問** 町有住宅の室内改修を行う計画があるか。

**答** 町有住宅の入居率向上のため、リニューアル化、モデルルームを検討する。

**現状** モデルルーム的な改修はしていないが、既存室について、畳からフローリングへ改修を行った部屋がある。



室内のフローリング化



旧中部小学校

26年9月

**問** 廃校となった小学校跡地利用の活用は。

**答** プールなどは、社会体育施設として同様に使用。校舎は地域と協議し、民間活用も含め検討する。

**現状** 旧五開小学校は、NPO法人からの希望があり現在協議中。旧中部小学校、旧増穂西小学校は、地区の要望に基づき、今後も協議を進めていく。

26年6月

**問** 若者の未婚化、晩婚化対策として、婚活イベントの企画などを考えているか。

**答** イベント内容を研究し、開催の可能性を検討する。

**現状** まち・ひと・しごと総合戦略の施策として、婚活支援事業を盛り込み平成28年度から実施していく。

26年9月

**問** 雪害対策をマニュアル化すべきではないか。

**答** 大雪における各区の状況と、町の対応結果を総括した上で、マニュアル化していく。

**現状** 検討中である。

# 組合議会報告

平成26年度  
決算

## 三郡衛生組合

会計名	決算額	富士川町負担金
一般会計	1643万円	308万円
火葬場	2億2403万円	4264万円
し尿処理場	1億8749万円	2040万円
合計	4億2795万円	6612万円



三郡衛生し尿処理場

9月29日、三郡衛生組合議会定例議会が開催され、26年度各事業の決算認定3件と監査委員選任ほか同意案2件が原案通り承認可決された。

各事業とも約90%が市町の負担金で運営されている。

し尿事業では、建設資金16億7060万円の借入金の分割返済は26年度で完済した。

公共下水道の普及により10年間で処理量が21%減少し、今後も処理料収入は減少傾向にある。

火葬事業では、建設資金12億2800万円を分割返済し、26年度は約9856万円を返済。返済の終了は、4年後の平成30年度である。

## 中巨摩地区広域事務組合

会計名	決算額	富士川町負担金
一般会計	4121万円	323万円
ゴミ処理事業特別会計	33億615万円	9322万円
地区公園事業特別会計	834万円	80万円
老人福祉事業特別会計	2847万円	237万円
勤労青年事業特別会計	5001万円	401万円
し尿処理事業特別会計	2億3494万円	0万円
合計	36億6912万円	1億366万円



清掃センター大改修

9月30日、中巨摩地区広域事務組合議会定例議会が開催され、27年度補正予算2件、26年度決算認定6件を原案のとおり可決した。

補正予算では委託料に、約983トン分の焼却残渣・不燃残渣最終処分費として4190万円を増額補正し、今まで茨城県の「株式会社向洋産業」1社だった処分先に、山形県の「株式会社エコス米沢」を1社追加した。

決算認定では、ゴミ処理事業費の増加の理由は、25年度より3カ年の継続事業である「清掃センター基幹的設備改良工事」の工事がピークを迎えていることが主な要因である。

## 訂正とお詫び

「議会だより第21号」の5ページ討論・採決の記事中賛成者氏名に「井上光三」議員の記載が漏れていました。訂正してお詫び申し上げます。

## 第3回臨時議会(7月28日)

# 「町道天神中條20号線の建設中止を求める請願」

賛成多数  
で可決

町道天神中條20号線の建設中止の請願書について、産業建設常任委員会の報告(採択)に対し、質疑・討論・採決の結果、賛成9反対5で可決された。

### 〔委員会審査結果報告〕

区が提出する要望書は、本来、区民の総意に基づき作成されるべきものであり、そこで生活している人たちの切実な思いを代弁するものであるから、可能な限り尊重すべきであると考え、町が区に対して行った地元要望の再確認の回答においても、明確な要望意思が確認できなかった。したがって、建設中止を求める近隣住民がいることや現時点での区的意思確認ができないことから、本請願を採択すべきものとする。(全会一致で可決)

### 採決結果

<b>賛成</b>	川口 正満・青柳 光仁・堀内 春美
	秋山 勇・長澤 欽也・秋山 智
	市川 淳子・齊藤 欽也・神田 智
<b>反対</b>	小林有紀子・深澤 公雄・鮫田 洋平
	井上 光三・小林 進

**賛成**

長澤健議員  
天神中條区政に悪影響を及ぼす。混乱を治めたい。  
青柳光仁議員  
全会一致で採択された委員会の結論を尊重

齋藤欽也議員  
地域住民からの強い要望が確認できなかったことが最も大きな問題である。

### 賛成

小林進議員  
区から要望がない限り、工事を先送りすること、事態の收拾が

権限外の請願は不採択とするべきだ。

### 反対

鮫田洋平議員

区が要望の撤回や中止を判断するべき。町の方針の既存の道路整備が中止になってしまう。

図られた。請願の趣旨は成就している。  
井上光三議員  
天神中條区から出された要望であることを尊重。

## 本会議討論

## 行政視察研修

**実施日** 平成27年8月4日(火)~5日(水)  
**研修場所** 神奈川県逗子市・静岡県焼津市  
**研修内容**

逗子市議会は、全国に先駆けて議員主導でタブレット端末による議会運営を開始した。具体的な導入や運営方法について研修でき、大変参考となった。

焼津市では、河川敷を利用した運動公園陸上競技場を視察。本町で検討している「町民交流広場」より規模は大きい、市民の利用状況や、管理および運営上のコストなどについての説明があり参考になった。



逗子市での研修

## 第4回臨時議会

8月18日、第4回臨時議会を開催し、次の議案を全会一致で可決した。

### 都市公園条例の一部改正

上北町チビッコ広場を廃止する。鯉沢プールを撤去し、駐車場建設に伴い、隣接する同公園を駐車場に利用するもの。

### 東川拡幅工事に関する請負変更契約の変更

請負額の最終確定に伴い、約680万円減額して約1億320万円となる。納期は27年8月31日変更なし。

# 特別委員会活動報告

## 増穂商業高校の存続を考える特別委員会

# 新設校は富士川町へ要望

本特別委員会は「県立高等学校整備基本構想」による再編整備で、増穂商業高校の存続が危惧されるため、調査研究に取り組む必要があるとして、昨年6月の定例議会において設置された。この委員会は改選前の議会においても設置されている。

### これまでの取り組み

これまで、町民や高校関係団体の意向を踏まえ、県立唯一の商業高校であること、生徒の43パーセントは南アルプス市からの通学であること、専門高校においては学年・学級の人数を配慮することなどを基本的な考えとして調査・研究を行ってきた。

### 主な活動

- ・特別委員会の開催
- ・県議会議員と勉強会の開催
- ・「増穂商業高校存続委員会」への参加（高校関係団体、地元企業代表者等で構成する組織で存続委員会という）。
- ・県教育委員会の訪問
- ・県教委説明会の参加
- ・南アルプス市議会に連携の協力要請

### 意見書可決

こうした取り組みの中、平成27年3月議会において、存続委員会から出された、意見書の提出を求める請願を採択し、知事、県教育委員長あてに

存続を求める意見書を提出した。なお、南アルプス市議会からも同様の意見書が提出されている。

### 県教委の再編内容

（8月24日の説明会）

増穂商業高校、市川高校、峡南高校を統合し、単位制・総合制高校を市川三郷町内に設置する。身延高校を中高一貫教育校として配置する。

### 特別委員会の意見集約

特別委員会では、高校関係団体や町民の意見等を聞く中で、次のように意見集約した。単独の存続活動は非常に難しい。県教委の示した設置場所に問題がある、生徒の利便性等を考慮し富士川町内の設置が望ましい。富士川大橋付近に身延線の新駅を新設することにより電車通学の生徒の利便性も増す。

### 当面の活動

議会では、基本的な考え方にに基づき、町と南アルプス市に協力要請を求め、早急に県に要望書を提出していくことを確認した。

## 議会のおもな活動日誌

7月	13日	議会運営委員会
	14日	全員協議会・産業建設常任委員会(請願審査) 中部区地区懇談会
	21日	長澤区地区懇談会
	22日	小室・高下区地区懇談会
	24日	脊米区地区懇談会
	27日	議会運営委員会
	28日	鰻沢北区地区懇談会
	30日	平林区地区懇談会
8月	31日	鰻沢中区地区懇談会
	4~5日	議会行政視察研修会(逗子市・焼津市)
	6日	町村議会議長会広報研修会
	7日	議会運営委員会
	17日	議会運営委員会・全員協議会 天神中條区地区懇談会
	18日	増穂商業高等学校の存続を考える特別委員会 リニア対策特別委員会
	28日	議会運営委員会・全員協議会
9月	31日	議会運営委員会・全員協議会
	1日	消防団第三分団詰所起工式
	5日	増穂中学校「紅葉祭」開会式
	12日	鰻沢中学校「鰻朋祭」開会式

## リニア対策特別委員会

富士川町内で、リニアのセンター杭の測量が始まった。

議会では8月18日に、仙洞田地区の変電施設およびセンター杭の位置を視察した。

9月11日には、町で示した側道建設について話し合いをした。今後も、リニア建設に対する地域課題に取り組んでいく。



リニアセンター杭視察

# 夢に向かって...

## 富士川クラフトパークカヌークラブ

佐川 幸司(30)

中学のころ、富士川クラフトパークに友達と何回もカヌーを乗りに行っていたこともあり、身延高校では、カヌー部に入りカヌーポロと言う競技を3年間精一杯やりました。卒業後、先輩から川の競技をしてみないかと誘われたのが、カヌーワイルドウォーターを始めたきっかけです。

今年で国体出場が12回目になり、これまでの最高順位は3位でした。これだけ長く競技を続けられ、今なお向上していただけるのは、会社など多くの方々の支援のおかげです。また、クラフトパークカヌー場で仲良くなった子どもたちの応援も励みになっています。子どもたちには、もっと自然の中で川遊びやカヌーの楽しさ、未知へのチャレンジ精神を養い経験してほしいと思います。最後にジャパンカップで優勝し日本代表になること、これが今の目標です。(長澤区在住)



### スポーツの成績・略歴

- ・第69回国民体育大会 長崎がんばらんば国体  
カヌー ワイルドウォーター男子 1500m 4位  
スプリント 3位
- ・2015年カヌー  
ワイルドウォータージャパンカップ 第2戦 2位

## テニス少年女子

中谷 彩(甲府南高校)

両親ともにテニスの経験があり、幼いころからテニスに触れあう機会がありました。そのため日ごろから家族でテニスを楽しみ、6歳より試合に出たいという気持ちから、テニスクラブに通い始めました。

小学校3年生から選手コースに進み、5年生になって県の代表として、関東大会・全国大会に出場できるようになりました。

昨年の長崎国体では、シングルス2として出場、シングルスは1勝できましたが、ダブルスで負けてしまい2回戦に進むことはできませんでした。今年の和歌山国体では、シングルス1として出場します。初戦の相手県は昨年と同じ大分県なので、何としても勝ち上がり、昨年の雪辱を晴らしたいと思います。

小学生から選手として続けてきたジュニアとしての選手生活もいよいよ最後の年となります。同時に受験生として、ますますテニスと勉強の両立が厳しくなりますが、来年の全日本ジュニア出場を目標に頑張っていきたいと思います。

(眷米区在住)



### 他の本町出場選手(わかやま国体)

- ・藤巻亜里菜(バドミントン)
- ・河西辰也(卓球)
- ・高島海帆(ゴルフ)
- ・大久保由美(公開競技 綱引き)

## 議会クイズ

- 問題1. PCBの廃棄処理量は何klか。  
 問題2. 平成26年度決算のひとりあたりの負担額はいくらか。  
 問題3. 住宅用地取得費補助金の上限額は。

《景品》抽選で3名の方に図書券千円分を差し上げます。  
 《応募要領》必要事項を記入の上、ハガキにて応募ください。

・答え ・郵便番号 ・住所 ・氏名  
 ・年齢 ・電話番号 ・議会だよりの感想

《宛て先》〒400-0592 富士川町天神中條1134  
 富士川町議会事務局 行

《締め切り》平成27年11月末日(当日消印有効)  
 《当選者の発表》景品の発送をもって当選と代えさせていただきます。

### 前回の答え

(1)82% (2)273人 (3)まち・ひと・しごと



### 編集後記

戦後70年、今年は記憶に残る夏となりました。平和維持を目指す安法は、法制の改正。平和憲法は、どうなるのか。個人が名前だけでなく番号で識別されるマイナンバーの引き入れ。選挙年齢の引き上げ、今後の日本の姿を大きく変えるものです。戦後、先人たちは学問、言論、報道の自由、そして個の尊厳を守り、日本と世界の平和を追求してきました。今日後もそうあってほしいものです。(齊藤欽也)

### 広報 常任委員会

- 委員長 鮫田 洋平 副委員長 堀内 春美  
 委員 齊藤 欽也・川口 正満  
 深澤 公雄・小林有紀子

発行責任者/齊藤正行  
 発行/山梨県富士川町議会  
 編集/議会広報常任委員会

〒400-0592 山梨県南巨摩郡富士川町天神中條1134  
 TEL/0556-22-1111 FAX/0556-22-3177